



31日にオープンする東急プラザ銀座=東京都中央区銀座5丁目

東急プラザ銀座（延べ床面積5万平方㍍）は地上11階、地下5階（売り場は地下2階まで）。JR有楽町駅から銀座に向かう数寄屋橋交差点の角に立つ。東急百貨店の新業態店舗「ヒン

カリンカ」をはじめ、高級ブランド店など125店が入る。注目は、8～9階に入る空港型免税店の「ロッテ免税店銀座」。売り場面積約4400平方㍍は本州最大規模。空港型免税店について、「免税市場規模は、消費税だけでなく酒税やたばこ税などもかかる上、商品は空港で出する際に受け取るため、外国人旅行客が空港まで持ち運ばなくていいのが利点だ。競争を迫られるのが、銀座三越に入る「Japan」も

（延べ床面積5万平方㍍）は地上11階、地下5階（売り場は地下2階まで）。JR有楽町駅から銀座に向かう数寄屋橋交差点の角に立つ。東急百貨店の新業態店舗「ヒン

カリンカ」をはじめ、高級ブランド店など125店が入る。注目は、8～9階に入る空港型免税店の「ロッテ免税店銀座」。売り場面積約4400平方㍍は本州最大規模。空港型免税店について、「免税市場規模は、消費税だけでなく酒税やたばこ税などもかかる上、商品は空港で出する際に受け取るため、外国人旅行客が空港まで持ち運ばなくていいのが利点だ。競争を迫られるのが、銀座三越に入る「Japan」も

### 31日に東急プラザ銀座開店、免税店は国内最大級

創業時は鶏卵の卸商だった。明治初期にはかつお節やのりなどの海産品を扱い、戦時に良質の食材が手に入らなくなると女性用

買い」でおなじみの中国人観光客の出入りも多い。

創業時は鶏卵の卸商だった。明治初期にはかつお節やのりなどの海産品を扱い、戦時に良質の食材が手に入らなくなると女性用

## 変わる銀座

外国人客狙う大型施設出店へ

## 生き抜く老舗

東京・銀座が大きく変わろうとしている。31日には、外国人観光客をターゲットにした空港型免税店が入る大型商業施設「東急プラザ銀座」がオープンし、その後も開発プロジェクトが相次ぐ。そのなかで江戸時代から続く老舗も、それぞれのこだわりで生き残ろうとしている。



安西慶祐社長

## バッグ専門店 独自性・こだわりで勝負

の小物雑貨を売り始めた。

ために、時には再開発も必

先代がハンドバッグ専門店に切りを切った。時代にあわせて商材を変え、日本を代表する商業街の一線で生き抜いてきた。

「銀座は江戸、明治、大正、昭和と時代とともに顔を変えてきた。魅力向上の

「銀座は江戸、明治、大正、昭和と時代とともに顔を

を奪われる恐れもあるが、

「小さい店だからこそ独自性を出せる強みがある」と

こだわりは直感を重視し

「要では」と8代目の安西慶祐社長（46）は言う。大型商業施設が近くにできれば客

を奪われる恐れもあるが、

「小さい店だからこそ独自性を出せる強みがある」と

こだわりは直感を重視し

ために、時には再開発も必

て薦めたいと思うものを中

心に扱っている

外国人客向けの商品構成もしていない。「外国人の方

が求める商品は、本来その

国で受け入れられているも

の。旅行者向けに用意され

た物ではないと思う」。この

スタンスは今後も変わら

ない

た商品構成。

「はやりや売

れ筋を重視するのではなく、自分たちが自信を持つ

と7代目の松崎宗仁社長（62）。大型施設の開業にあわせて試そうと思っているのが、なじみの客と世間話が出来るような地域密着型店への原点回帰だ。

が店頭で雑談に花を咲かせた。せんべいについて「いつもと味が違う」「少し堅い」などと評論。こうした声に耳を傾けてきたことで生き残ってこられたと松崎さんは考える。

住民が減った銀座では地域密着店が難しいため、来月、世田谷区の商店街に本店以外では初の路面店を出すことを決めた。ここで

率直な声を、銀座で生かすつもりだ。

（遠藤雄司）

## せんべい店 地域密着型へ原点回帰

1804（文化元年）年創



松崎宗仁社長

業の銀座松崎煎餅は、3代目が65年に港区芝から銀座に店を移した。

せんべい一筋だが、こちらも柔軟で事業を広げてきました。銀座に移ってすぐのころ、せんべいは季節感が

出でてくるからと表面に絵柄を描いて客を喜ばせた。戦後は銀座三越、日本橋高島屋、松屋浅草などの百貨店に進出し、贈答品としての評判を高めた。

「新しいものを取り入れ

域密着店が難しいため、来月、世田谷区の商店街に本店以外では初の路面店を出すことを決めた。ここで

率直な声を、銀座で生かす

つもりだ。

（遠藤雄司）